

防災キャンドル

1. 概要

- ジャム瓶に溶かしたロウを流し込み、非常時用のキャンドルを作成します。
- 被災時の準備をすることで、防災に備える意識を高めます。
- 自然の家職員は【活動前の打合せ】【開始時の全体説明】を行います。



2. 活動データ

 時期	通年	 時間帯	午前・午後		
 対象	小学生～	 適正人数	1 班 最大 10 名 最大 10 班 (100 名まで)	 活動形態	説明
 活動場所	工作棟、学習室	 所要時間	2～3 時間	 費用	300 円/人

3. 準備物

団体・個人で準備するもの

- ☐ 軍手（化学繊維製や滑り止め付きは不可）
- ☐ 新聞紙（1 班につき 1 日分程度）
- ☐ カセットボンベ（1 班につき 1 本）
※売店で購入可能
- ☐ クレヨン（1 人につき 1 本程度）
※キャンドルに色をつける場合
- ☐ アロマオイル
※キャンドルに香りをつける場合

自然の家で貸し出しできるもの

- ☐ カセットコンロ
- ☐ 鍋、湯せん用タンポ
- ☐ はさみ
- ☐ ザル

食堂売店で購入できるもの（事前注文のみ）

- ☐ 防災キャンドルセット（300 円）
- ☐ カセットボンベ（1 本 300 円）

4. 実施手順

プログラムの流れ		留意点
(1)準備	①活動の 30 分前までに、団体の担当者と自然の家職員で打合せを行います。 a)活動場所確認 b)指導手順の確認 ②食堂売店で防災キャンドルセットを受け取ります。 ③活動場所に移動します。	
(2)活動	④活動場所に全員そろったら、自然の家職員が説明を行います。 a)防災キャンドルをつくる目的について b)道具の確認 c)作成手順の確認 c)片づけの確認 ⑤各班に分かれて活動を開始します。	☐ 災害時時に電気が使用できない状況に備えることの重要性について確認をします。 ☐ 活動中の指導は、団体の引率者の方をお願いしています。特に、カセットコンロの使用や熱湯に触れないようにご注意ください。
(3)片付け	⑥湯せんで使ったお湯にはロウが溶けていることがあるため、そのまま流し場に流さずにザルで濾してから流すようにします。 ⑦机やいす、床などにロウが付着している場合は、雑巾等でふきとってください。 ⑧使用した道具をもとの場所に返却します。	